

旧山陰道  
 豊舟ライン



# ますだ歴史浪漫街道 探訪マップ。



## 幕末 石州口の戦い

元治元年(1864)徳川幕府の長州軍は新選組となり、幕府は慶応2年(1866)、第二次長州戦争の幕を起し、四国(石州口・五州口・大谷口・小倉口)より戦線が広がりました。そのうち石州口の戦場となったのが浜田藩領益田でした。幕府軍は浜田藩800名、福山藩800名の連合軍で、6月17日の朝、萬福寺と医光寺に布陣しました。一方、大村益次郎率いる長州軍1200名は幕府軍の動きを窺い、18日には扇原門(益田市多田町)に迫っていました。門門を守るのは扇原門守の浜田藩士岸野江守と少数の士卒、そして農民兵16名のみです。圧倒的多数の長州軍は、何度も扇原門を迫りましたが、藩命を護守した岸野江は新選組に、石州口の戦いの火ぶたが切られました。

徳の名人であった岸野江は甲斐で武藝を習った長州藩の藩士に立ちはだけりましたが、近代兵器の面ではなすすべもなく、新選組を浴びて立ち姿のまま絶命したといわれます。享年31歳。彼の墓所は、益田市立歴史民俗資料館に保管されています。翌6月17日、長州軍は扇原門を通り、益田口へと進軍し、本陣を妙法寺に構えました。勝浦寺、医光寺、萬福寺に布陣した幕府軍との戦いは双方互角の打ち合いで激戦となりましたが、形勢は次第に長州軍に傾き、夕方には長州軍の勝利に終わりました。萬福寺本堂には当時の銃弾の跡が残っています。

## 旧山陰道

中世になって、津和野町に吉原氏が城を築き、岡部山口に大内氏が本拠地を構えると、石見益田からそれらの地に向かう道ができました。この道が松江・大田・江津・浜田を経てきた道とながり山陰道となりました。扇原門門前には津和野町に向かって本保賢町、横田町、神田町を通り津和野町へ道は続きます。また、扇原門門北側は浜田藩、杉林の道を下っていくと岸野江の墓所があり、そこからならぬかな道を下ると多田の集落が点々と見え、やがて机崎神社が見えてきます。長州軍はこの神社に集結し、土手を登り扇原の扇原山に登って幕府軍を攻撃しました。そこから益田の町の中を通り、橋を渡り萬福寺の門前に出て、扇の口へ向かいます。ここから先は道田町へ向かう幹道にさしかかり、浜田方面へと続いています。

この扇原門から扇の口までの街道は歴史や文化を今に伝える歩道街ルネサンス指定地区「ますだ歴史浪漫街道」として指定されています。かつての街道や街並みをたどりながら、時の流れに思いをめぐらせてみてはいかがでしょうか。

岸野江の墓 16  
 扇原の扇門跡 15

七尾公園から本丸跡まで  
 徒歩約30分

七尾城跡  
 七尾山  
 住吉神社

# 周辺見どころ紹介【神社・寺院・史跡】

## 七神社

**1 天石勝神社**  
 創建は聖武天皇の神亀2年(725)頃、当地を開拓した春日原の祖神として社殿石手の注連岩を神体として天石勝命をお祭りしたのが始まりで、市内でも由緒ある式内社のひとつです。戦国時代の移築を列した本殿は石瓦葺三間社五造りで高麗風の装いが、国の重要文化財に指定されています。

**2 染羽大元神社**  
 染羽地区に氏神様、国土要平の神、国常立命を祀っています。天石勝神社境内に鎮座。

**3 矢田八幡宮**  
 家運長久の神様、天石勝神社境内として移動し、昭和24年に現在地に遷座。

**4 益田天満宮**  
 菅原道真公を祀る神社。御祭神の遷座により学業成就等の神様。11月3日に行われる例大祭は有名です。

**5 三宅大元神社**  
 三宅地区の氏神様、国常立命を祀る。国史跡三宅御土居西側に鎮座。

**6 机崎神社**  
 創建は聖武天皇の天平年間と伝えられ、磐梯山上に農業の祖神として祭られました。南北朝時代、日野親光が山頂に遷座しました。現在はこの地に新機崎神社となりました。慶応2年(1866)長州軍が攻め入った石州の戦いでは、こゝが作戦基地となりました。

**7 住吉神社**  
 益田氏が七尾城の守護神、海運の神として創建。33段の石段の上からは、益田市街が一望できます。また、七尾城本丸への入口となっています。

## 七寺院

**8 医光寺**  
 臨濟宗東福寺派の寺で、もとは天台宗興隆寺の塔頭でした。第五代住職兼雪舟が作庭した庭園は国の名勝指定も受けており、寛政45年といわれるしだれ桜が有名です。入口の繪門(景指定文化財)は益田氏の居城七尾城の大守門を移築したものです。

**9 萬福寺**  
 鎌倉時代の様式を残す七尾四方の本堂は国の重要文化財に指定。雪舟が築いた寺新式庭園は国の名勝地に指定されています。慶応2年(1866)長州戦争のときは浜田藩の本陣となり激戦地となりました。

**10 泉光寺**  
 松尾山泉光寺淨土真宗本願寺派。慶長19年、益田氏の居城に建立され、平成23年、現在地に移転しました。

**11 妙義寺**  
 天文年間(1294)臨濟宗妙義庵として創建。明永元年(1394)益田兼家の菩提寺となり、曹洞宗となりました。代々益田氏の菩提寺として傳依を受けました。

**12 妙法寺**  
 円教山妙法寺日蓮宗。天正8年の創建と伝わっています。もとは妙法庵といひ岩州赤名にあった妙法寺の別院と伝えられています。

**13 順念寺**  
 天台宗順光院が鎌倉時代に創建されました。益田家時代は祈願所として800年以上の歴史を持つ名刹です。源頼朝公の宝物庫か数々の寺宝があります。天正5年(1577)淨土真宗順念寺と改宗。

**14 眺音寺**  
 淨土宗智恵院派の古寺で天文年間創建。慶長5年(1601)現在地へ移転。本尊は鎌倉時代作の阿弥陀如来で奥書指定文化財とされています。

## 史跡・名勝

**15 扇原の関門跡**  
**16 岸静江の墓**  
 慶応2年(1866)大村益次郎率いる長州軍が、津和野藩領と浜田藩領の境界、扇原の関門へ押し寄せました。時の浜田藩藩守岸静江は、この関門を死守し壮烈な戦死を遂げました。当時31才で武士道の華として地元の人々による供養が続いています。

**17 七尾公園**  
 七尾公園は七尾城址の堀跡を中心にした桜の名所で、昭和4年益田で最初の水源池となりました。

**18 七尾城跡**  
 七尾城跡は益田氏が建久3年(1192)頃本拠地を益田に移してから約400年間居城とした中世の山城です。本丸は高さ120mの山頂にあり、出入、曲輪、空堀、馬釣井などが配置され、石見地方最初の城郭といわれています。

**19 三宅御土居跡**  
 中世の豪族益田氏の居館跡で、慶永年間(1371)頃益田兼見によって築かれたと伝えられています。100m×200mの長方形の周囲に堀と東西に土壁をめぐらせた大型の館跡で一部は歴史公園になっています。中央に史跡を保護する特殊な道路が整備されています。

**20 長門県芸術文化センターグラントフ**  
 石見地方の伝統的な石瓦28万枚を使用して建てられた「グラントフ」は美術館と劇場が集まった複合施設です。愛称のグラントフはフランス語で「大きな暖炉」を意味し、その暖炉に数々の賞を受賞しています。

**21 歴史民俗資料館**  
 大正10年(1921)美濃町役所として建てられ、昭和8年歴史民俗資料館として開館し、平成8年に国の登録文化財に指定されました。七尾城や益田氏の歴史であった三宅御土居とその周辺の町並みの想像模型の展示や郷土の人たちの生活が展示されています。

**22 鍵曲がり**  
 門前の道路が七尾城に向かって鍵曲がりになっています。門前の道路の狭さで門と鍵曲がりが決まりました。昔の名残をとどめています。

**23 益田兼義公銅像**  
 幼くして益田家13代の家督を継ぎ、幾多の戦を経て繁栄を築いた名將。大内氏と頼朝で内仁の乱の後石見国人らの盟主として活躍しました。雪舟を益田の地に招いたことは有名で、雪舟の御記念館には重要文化財雪舟筆「益田兼義像」が収蔵されています。

**24 益田藤兼の墓**  
 益田家10代城主の墓。高さ2mを超える益田で一番大きな五輪塔です。益田藤兼は天文20年(1551)以降毛利氏と敵対しましたが、西川氏の仲介で毛利氏と和睦しました。七尾城の修築、御土居の改修などを行いました。

**25 益田兼秀の墓**  
 益田氏が最も繁栄した時代の15代城主の墓。前には五輪塔の一部あり、中には笠置印塔の一部が納められています。兼秀は内仁の乱以降の激動期に大内氏とともに石見を支配する因襲として各地で戦いました。

**26 益田家方・兼見の墓**  
 萬福寺境内の権山墓地にある五輪塔で、11代益田兼見とその子益田兼方の墓と伝えられています。兼見は14世紀中ごろ三宅御土居、萬福寺、眺音寺(現医光寺)を創建したといわれ、七尾城や御土居と併せて中世城下町がこの頃作られました。

**27 辰の口**  
 益田氏境内から辰方面の出口にあたり、古くから辰の口と呼ばれていました。長州戦争(1866)のとき、浜田藩の武士が敗走した道で負傷した奥平の名字弁井金三郎がこの辺りひそんでいたのを追跡してきた長州藩士に発見され奥平を助けたとされています。

# お食事処

**28 天心** [中華料理]  
 年中無休 日替わりランチ720円  
 益田市土井町 0856-23-1878

**29 どさん子森** [ラーメン]  
 定休日 毎月16日 みそラーメン600円  
 益田市幸町 0856-23-0827

**30 マリード** [パン・喫茶]  
 定休日 土・日・祝日 コーヒー300円  
 益田市本町 0856-22-0350

**31 市原家** [割烹・料亭]  
 不定休 遊行膳(前日予約のみ)1500円  
 益田市本町 0856-22-0231

**32 島田家 四季** [和食]  
 年中無休 ランチ800円~  
 益田市本町 0856-22-0020

**33 養老** [ラーメン・焼肉]  
 定休日 月 ラーメン450円  
 益田市幸町 0856-22-8117

**34 ペガサス** [軽食・喫茶]  
 定休日 日 コーヒー350円  
 益田市幸町 0856-22-3254

**35 三洋軒博多ラーメン** [ラーメン]  
 定休日 月 博多ラーメン500円  
 益田市昭和町 0856-23-1998

**36 Pony** [フランス料理・軽食]  
 定休日 第2・4火 ランチ1680円~ 平日15歳限定ランチ1000円  
 グラントフ内 0856-31-1873

**37 かめや菓子本店** [和菓子]  
 年中無休 雪舟まんじゅう105円  
 益田市本町 0856-22-2317

**38 ひなたり** [お好み焼き]  
 定休日 日・祝日 お好み焼き500円  
 益田市七尾町 0856-22-2555

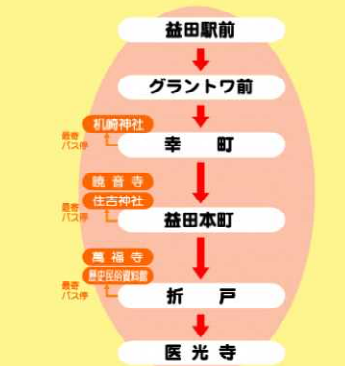
**39 珈琲の店みね** [軽食喫茶]  
 定休日 第2・4・5日  
 焼きサンドイッチセット800円 アレンジコーヒー500円  
 益田市昭和町 0856-23-1992

**40 起上小法師** [丼物・各種定食]  
 定休日 不定休  
 益田市昭和町 0856-23-3222

**41 ハツ橋商店** [ラーメン・カレー]  
 定休日 日・祝日  
 益田市三宅町 0856-22-2314

## 石見交通バス 雪舟ライン

益田 ↔ 医光寺 約10分 220円



## 益田市へのアクセス



発行 益田歴史を活かしたまちづくりの会  
 (社)中国建設弘済会助成

